



# 当面の経営課題 －取組みと展望－

2010年5月10日  
決算・経営説明会

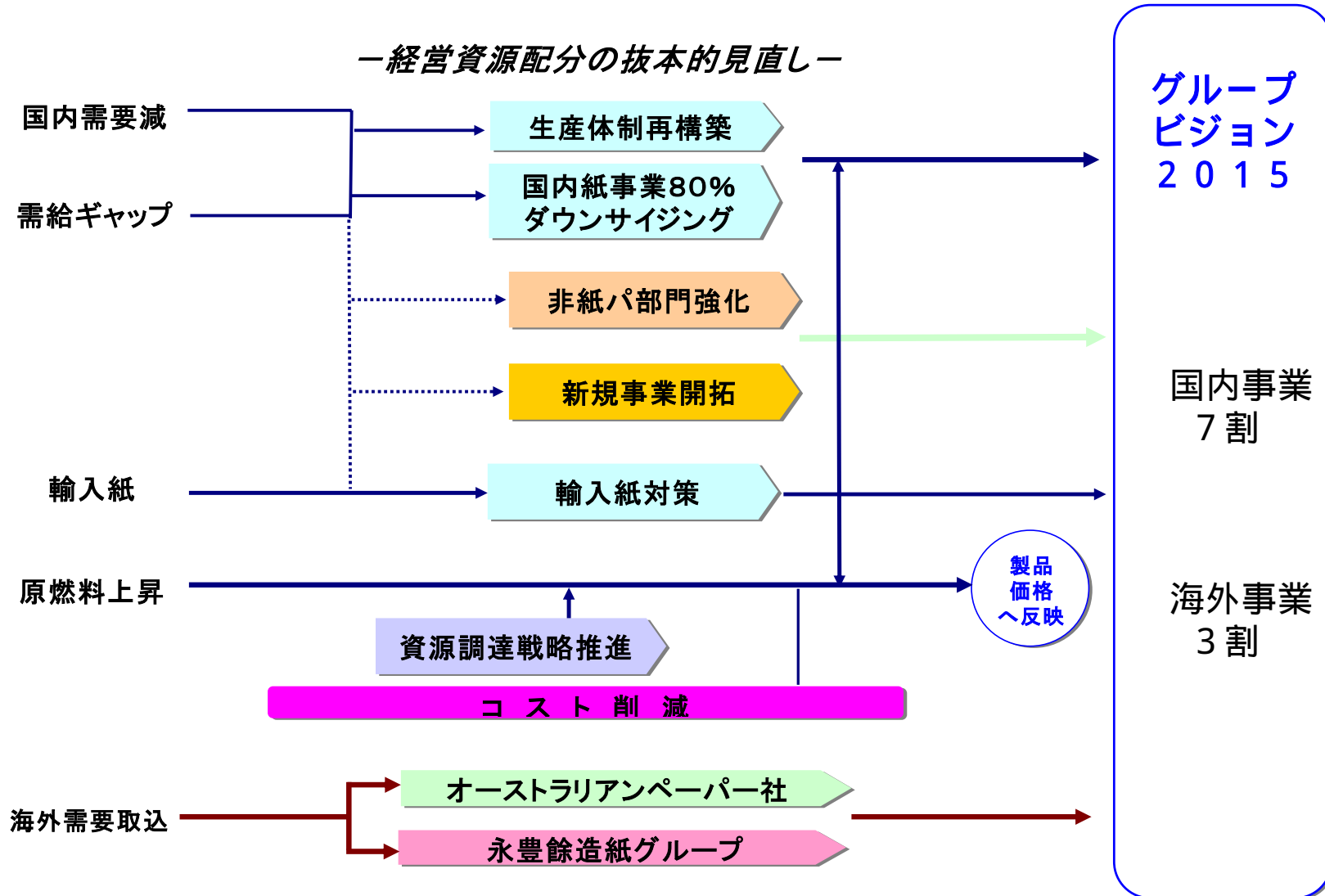
株式会社 日本製紙グループ本社

# 目次



1. これまでの取り組み
2. 海外展開の進捗
3. 総括

# 課題と取組み



# 1. これまでの取り組み

1.これまでの取り組み（1）需給対策  
能力削減



【供給能力の推移（紙）】

（単位：千トン）

	2008年度	2009年度	2010年度
当社	5,766	5,024	5,024
各社	14,829	14,202	14,056
業界計	20,595	19,226	19,080

\*日本製紙連合会資料を基に当社で作成

\*数値は各年度末推計値

（参考：削減幅） （単位：千トン）

	2009年度	2010年度	累計
当社	742	0	742
王子	417	80	497
大王	180	0	180
北越紀州	30	0	30
三菱	0	66	66
	1,369	146	1,515

# 1.これまでの取り組み (1)需給対策 当社の停機計画進捗状況



## 予定した全設備の停止を完了

工場(※)	設備名	停止時期	2009年度														
			3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
勇払	1号抄紙機・1号塗工機	2009年10月末	停 止 リ リ ー ス								停止						
石巻	2号抄紙機	2009年 9月末								停止							
	6号抄紙機	2009年 9月末								停止							
勿来	1号抄紙機	2009年 9月末								停止							
富士	S2号抄紙機	2010年 3月末															停止
	S3号抄紙機	2010年 3月末															停止
	S4号抄紙機	2010年 3月末															停止
	F7号抄紙機	2009年12月末											停止				
岩国	3号抄紙機	2010年 3月末															停止
	5号抄紙機	2010年 3月末															停止
	3号塗工機	2009年 9月末							停止								
大竹	7号抄紙機・1号塗工機	2009年 9月末							停止								

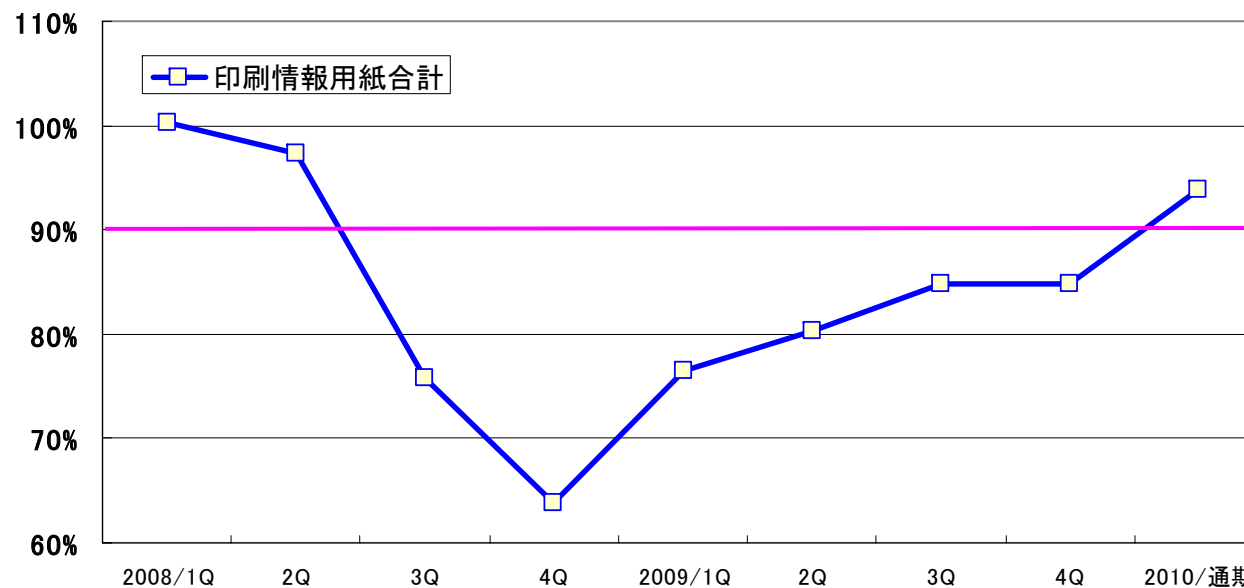
(※)大竹は日本大昭和板紙、他は日本製紙

# 1.これまでの取り組み (1)需給対策 設備稼働率



## 印刷・情報用紙設備の稼働率は90%台へ改善

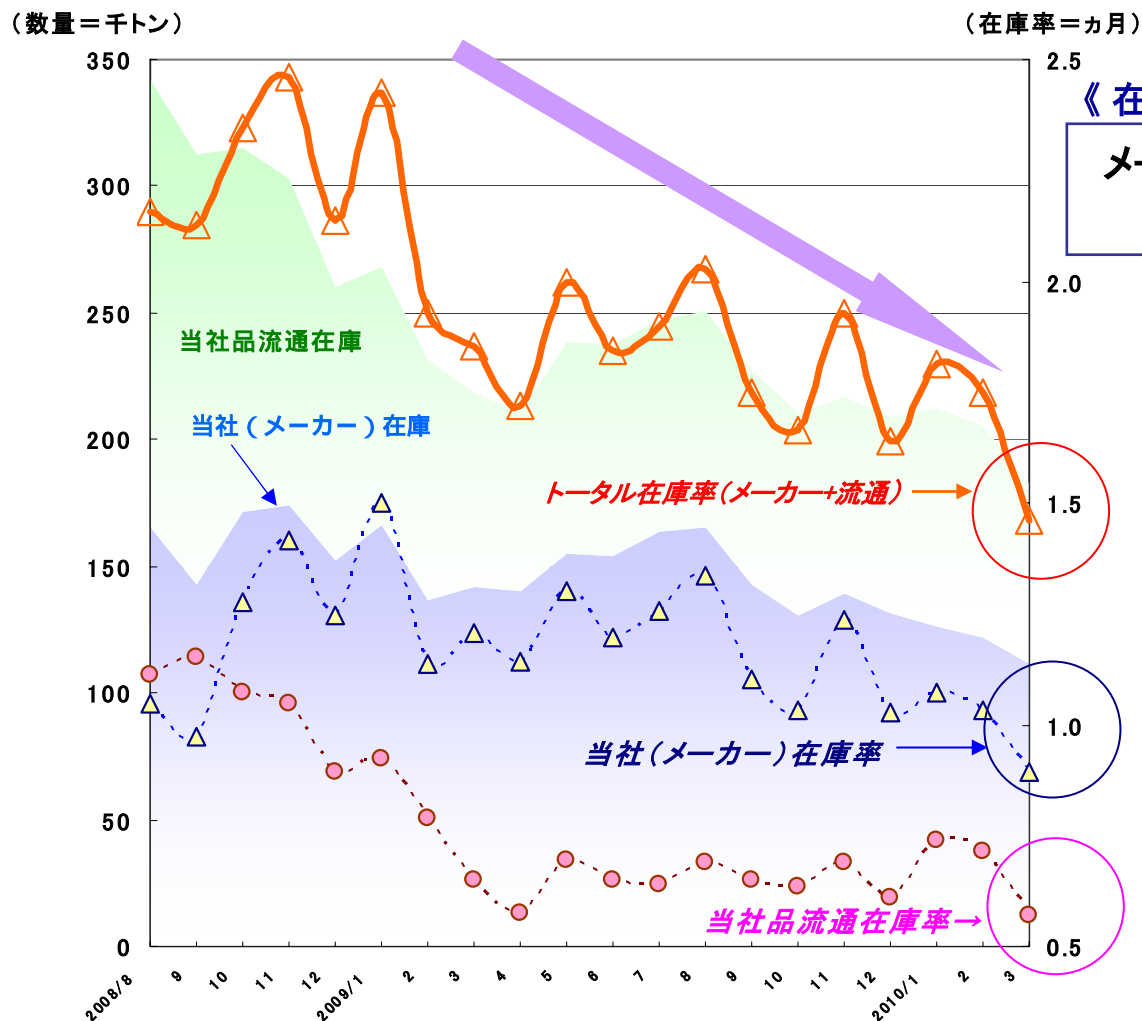
	2008年度				2009年度				2010年度
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	通期
<b>印刷用紙</b>	100%	97%	72%	63%	74%	80%	84%	84%	94%
塗工	101%	96%	69%	60%	68%	75%	86%	82%	93%
非塗工	97%	97%	79%	68%	85%	91%	81%	89%	97%
<b>情報用紙他</b>	101%	99%	85%	66%	83%	80%	86%	86%	93%
<b>印刷情報用紙合計</b>	<b>100%</b>	<b>97%</b>	<b>76%</b>	<b>64%</b>	<b>77%</b>	<b>80%</b>	<b>85%</b>	<b>85%</b>	<b>94%</b>



# 1.これまでの取り組み (2)在庫圧縮 塗工紙在庫の推移



## 当社の塗工紙在庫率(メーカー+流通)は1.46カ月に



‘10/3末 在庫実績(千トン)

流通在庫 71

メーカー在庫 111

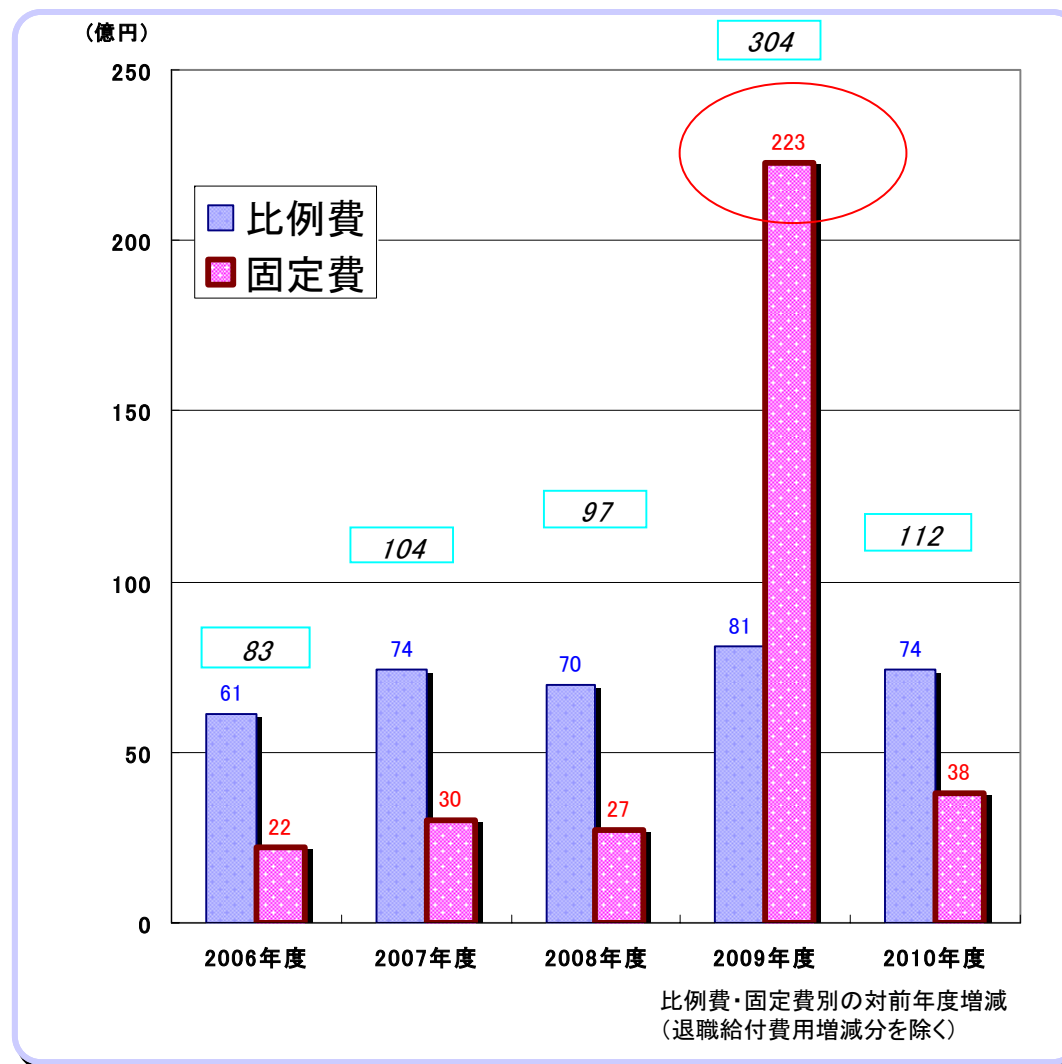
トータル在庫 182



# 1.これまでの取り組み (3)コストダウン 2009年度実績



**総額は前年度の3倍以上～固定費は223億円削減**



# 1.これまでの取り組み (3)コストダウン 生産体制再構築の効果



## 生産体制再構築によるコスト削減は順調に進捗

単位：億円

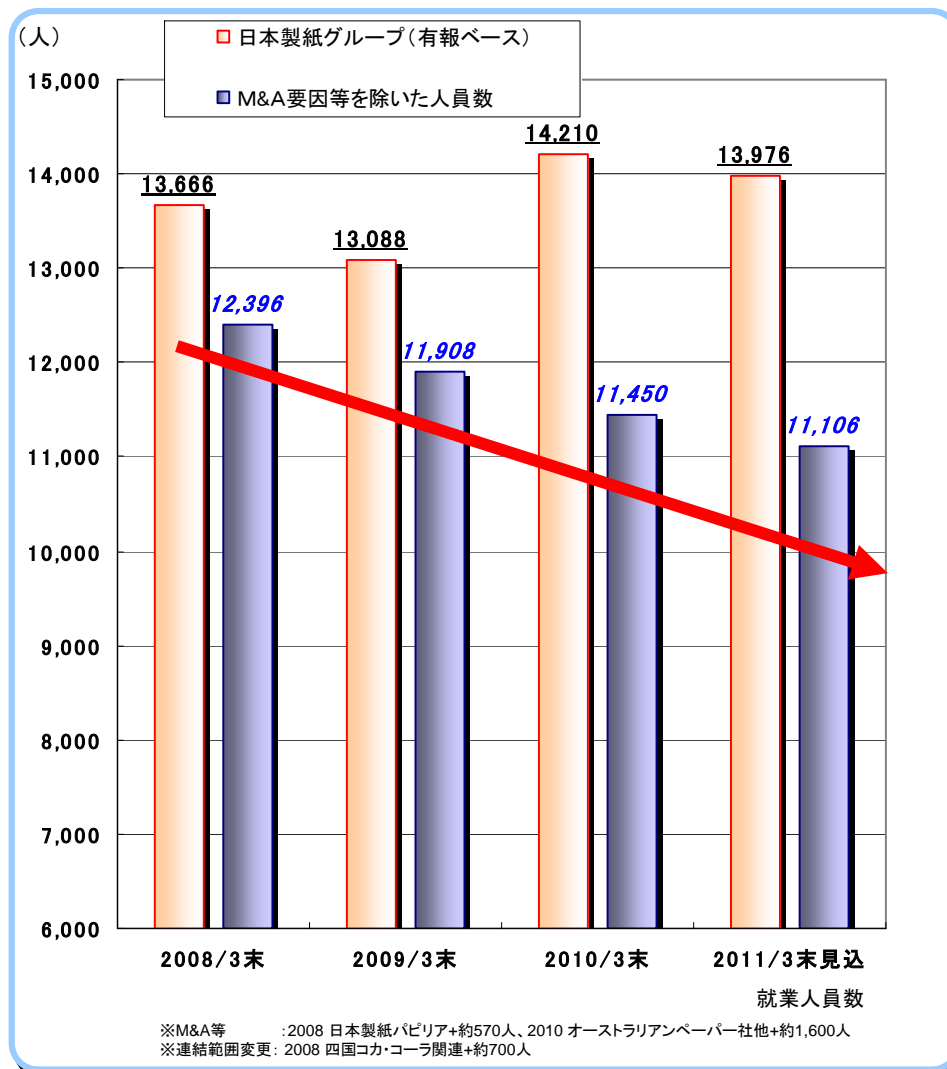
		計画	2009年度実績	2010年度見込
エネルギー費 他		18	10	8
固定費	償却費	19	12	7
	修繕・操業用品費	8	5	3
	人件費	35	5	16
合計		80	32	34

人件費削減  
効果は人員  
措置の進捗  
とともに、  
発現。

# 1.これまでの取り組み (3)コストダウン 従業員数の推移



## M&A要因等除いた人員数は着実に減少

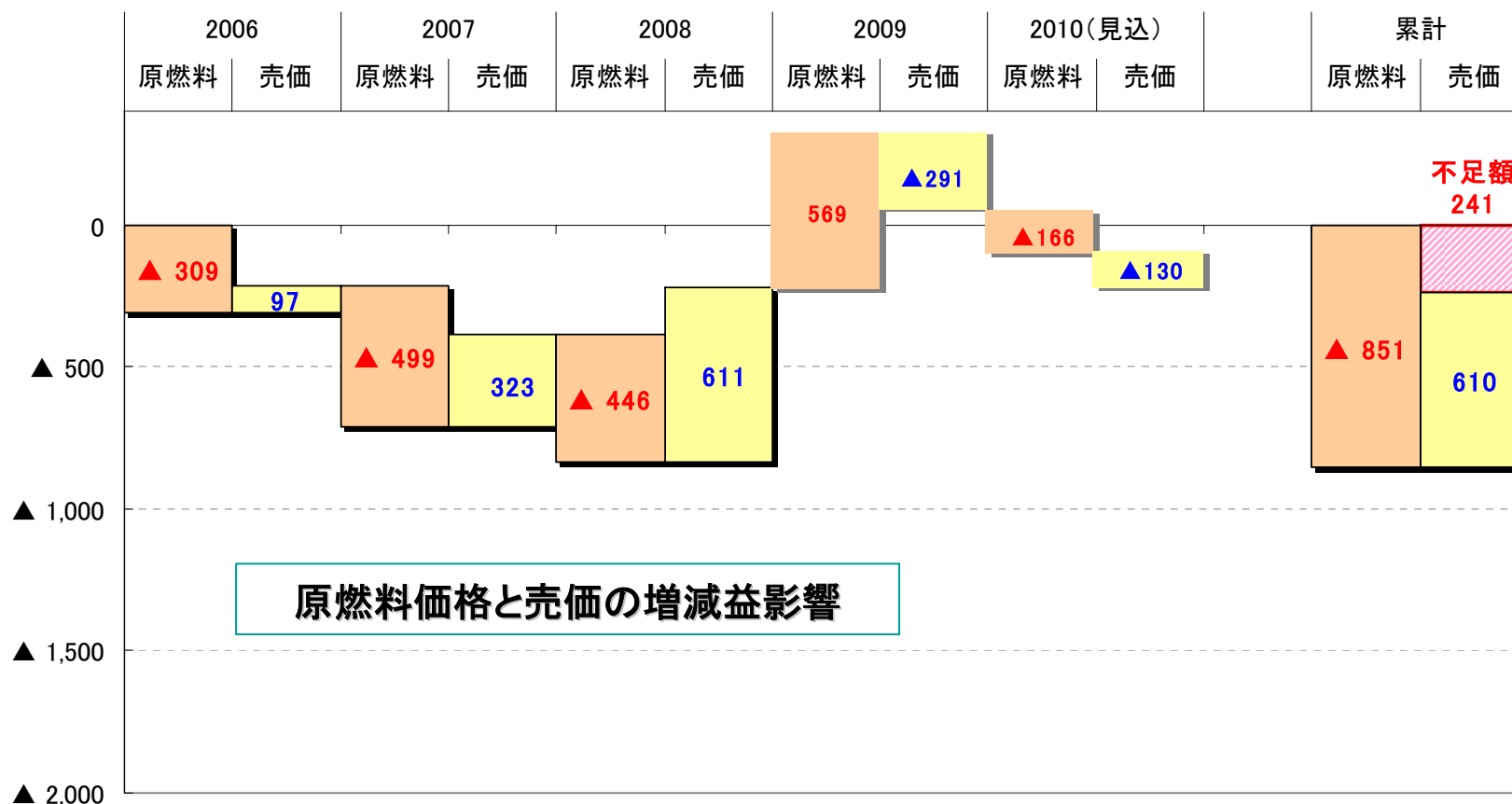


# 1.これまでの取り組み (3)コストダウン 原燃料価格vs売価



## 原燃料価格の変動は売価へ転嫁

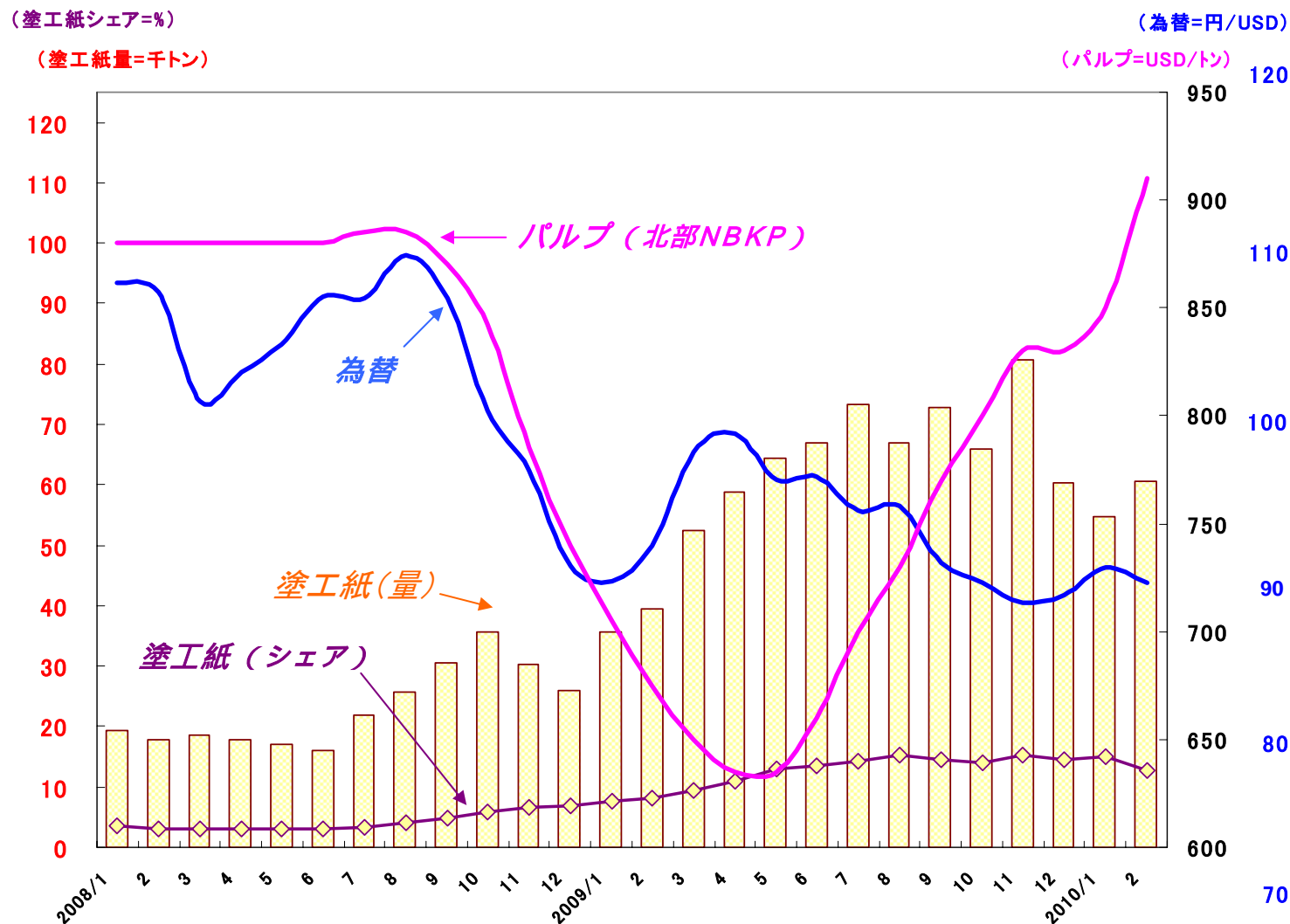
(億円)



# 1.これまでの取り組み (4)輸入紙対策 輸入紙推移



## 塗工紙輸入量推移～為替とパルプ市況

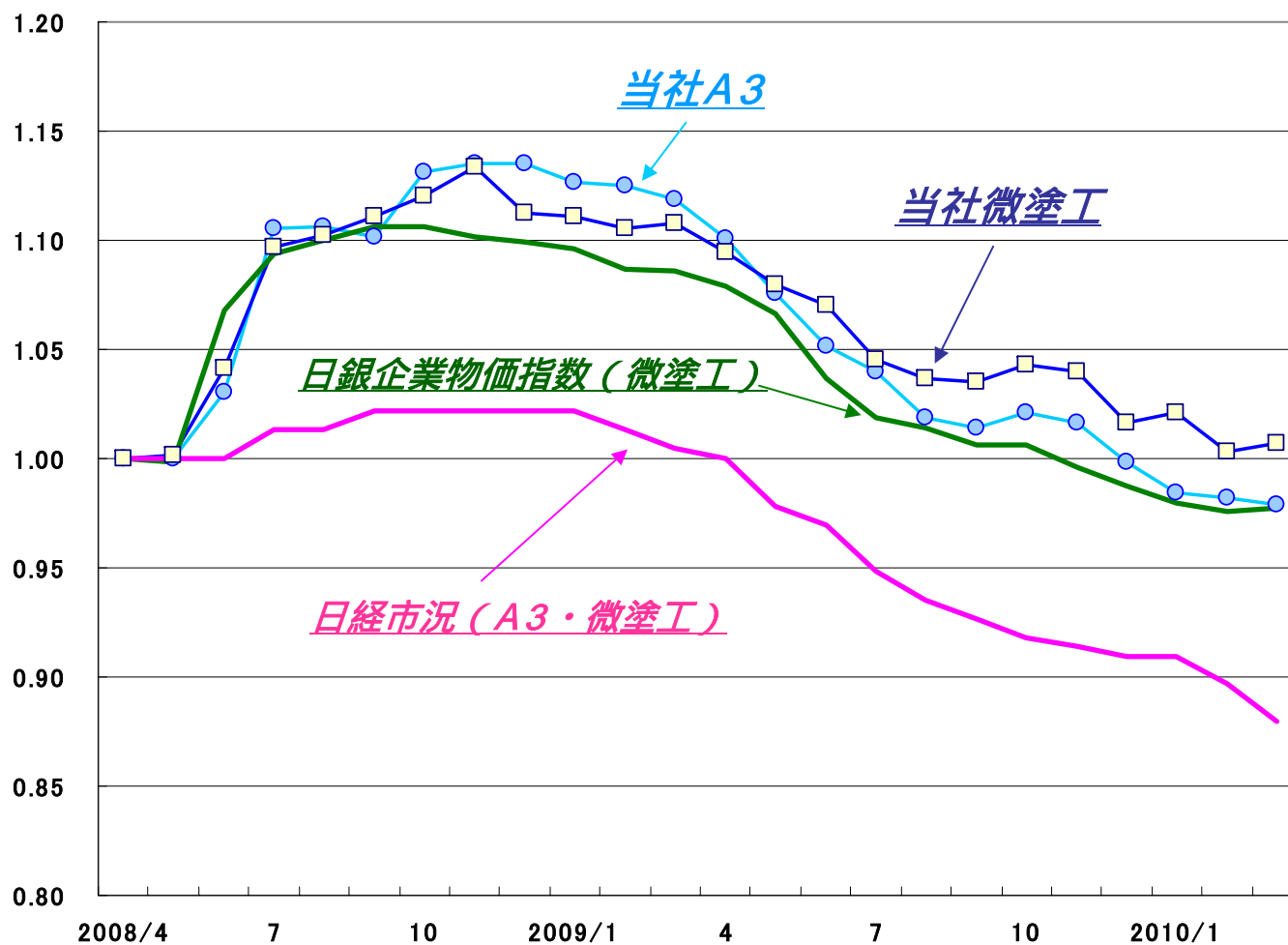


# 1.これまでの取り組み (4)輸入紙対策

## 国内市況



### 日経市況・日銀企業物価指数比較－当社は上限レベルを維持

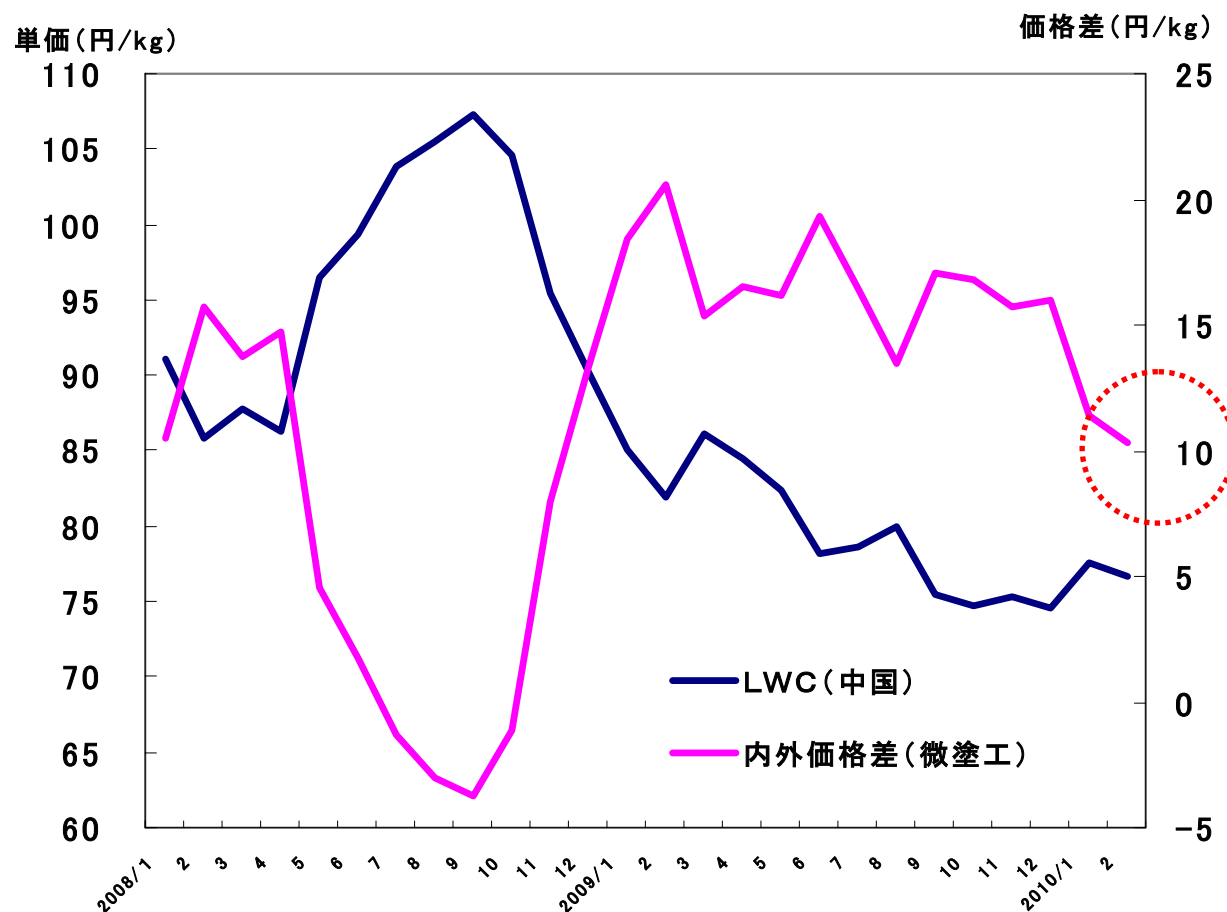


2008年4月単価=1とした場合の変動値

# 1.これまでの取り組み (4)輸入紙対策 内外価格差推移



## 塗工紙内外価格差は10円/kgレベルに縮小



LWC(中国)=財務省通関統計価格  
内外価格差(微塗工)=日経市況を使い当社で推計

# 1.これまでの取り組み (4)輸入紙対策 競争力の確立



## 「原料－製造－販売」各過程の見直しから優位性構築

### 【原料】

- 最適原料の選択(チップ・パルプ・薬品)
- 購入原料の自製化

### 【製造】

- 輸入紙ターゲットの品質設計(坪量と品質の最適化)

### 【販売】

- 80%ダウンサイジング⇒本社費削減
- メーカーへの集約による総在庫量削減
- 物流体制の見直し
  - ・生産地倉庫と消費地倉庫の最適化
  - ・共同物流の推進(流通との提携)

↓  
輸入紙対抗製品の上市



# 1.これまでの取り組み (5)環境対応 省資源による差別化



## 省資源による差別化の推進

### 新聞用紙

➤低坪量化～木質原料節減による薄物化



新品質設計の新聞用紙の開発・上市

○当社の取引新聞社へ順次導入(一部大手紙では切り替え完了)

### 印刷用紙

薄物化・嵩高化、グリーン購入法対応の推進

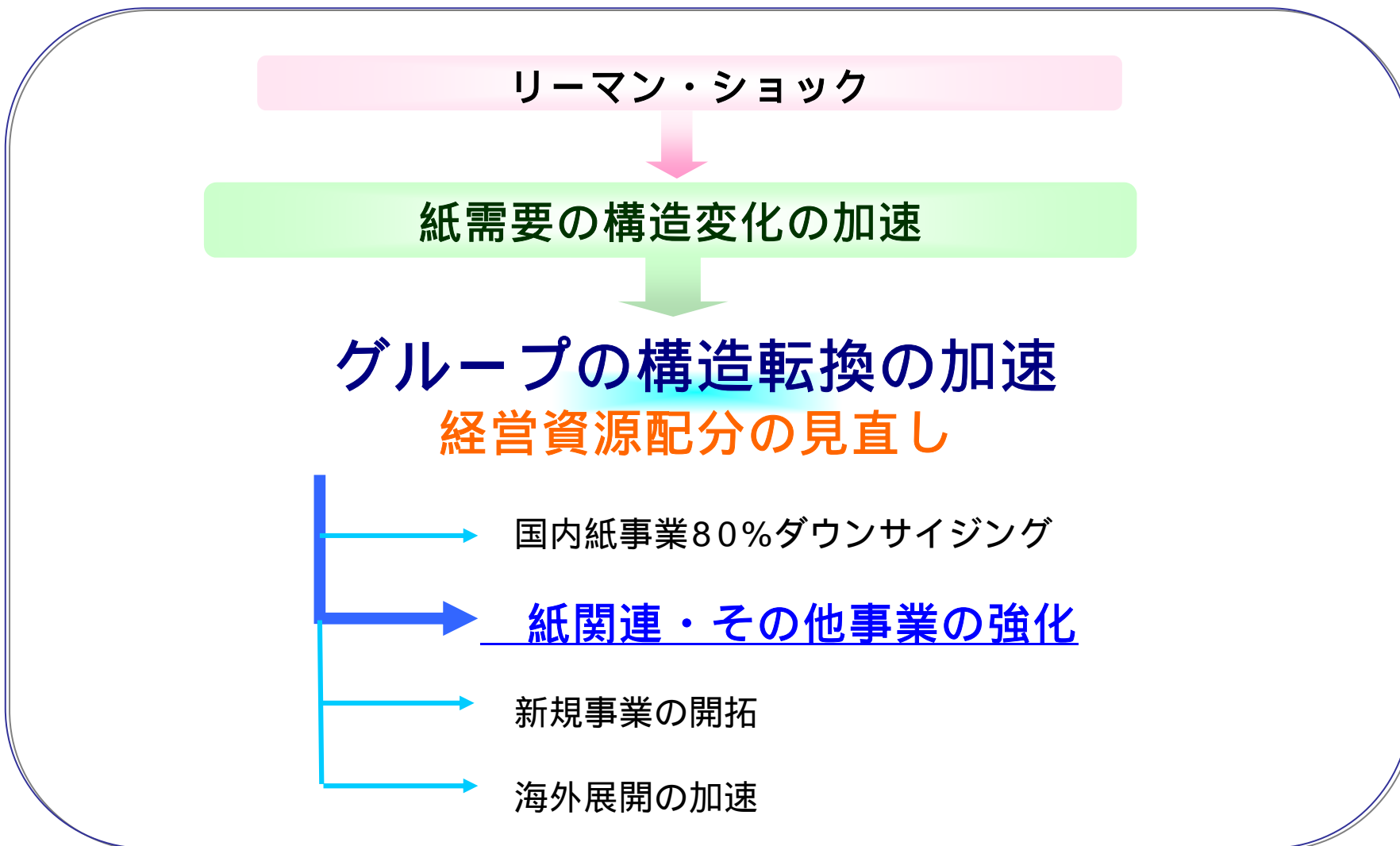
情報用紙(PPC) グリーン購入法対応品(古紙、間伐材配合)の充実

# 1.これまでの取り組み (6)非紙部門の強化

## 非紙部門の強化



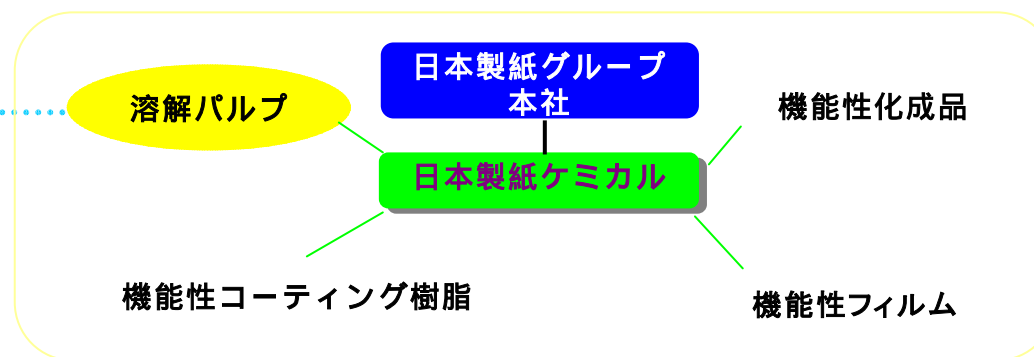
### 【非紙部門の位置づけ】



# 1.これまでの取り組み (6)非紙分野の強化 日本製紙ケミカル



## ー各分野でトップ技術ー



溶解パルプ事業(江津事業所)

■高付加価値セルロース分野に参入

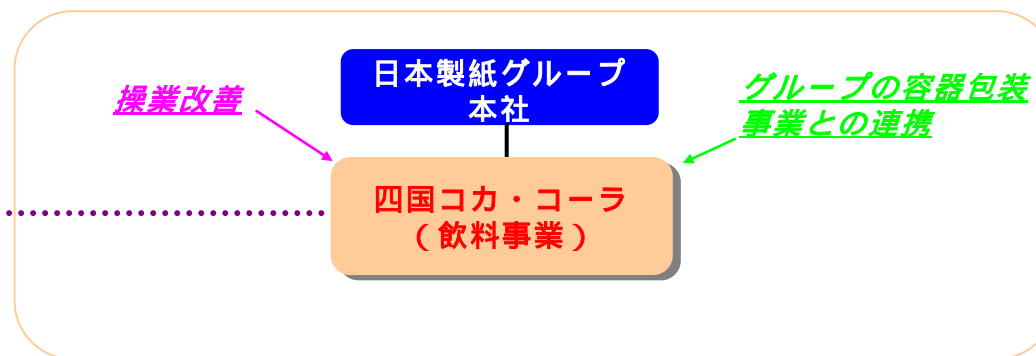
◆投資額: 63億円

◆完成 : 2011年12月(予定)

# 1.これまでの取り組み (6)非紙分野の強化 四国コカ・コーラボトリング



## ーブランドカと地域販売ネットワークー



### 清涼飲料事業

#### ■ペットボトル飲料充填ライン拡充<sup>(※)</sup>

- アセプティック充填設備
- 多品種(容器サイズ)小ロット生産対応
- 倉庫増設による物流効率改善

◆投資額： 47億円

◆完成： 2011年2月(予定)

(※)拡充・増設先は四国コカ・コーラボトリングの子会社である四国コカ・コーラプロダクツ

## 2. 海外展開の進捗

## 2.海外展開の進捗 (1)オーストラリアンペーパー社 2009年度業績と今期計画



### 初年度は計画を上回る業績

(単位:億円)

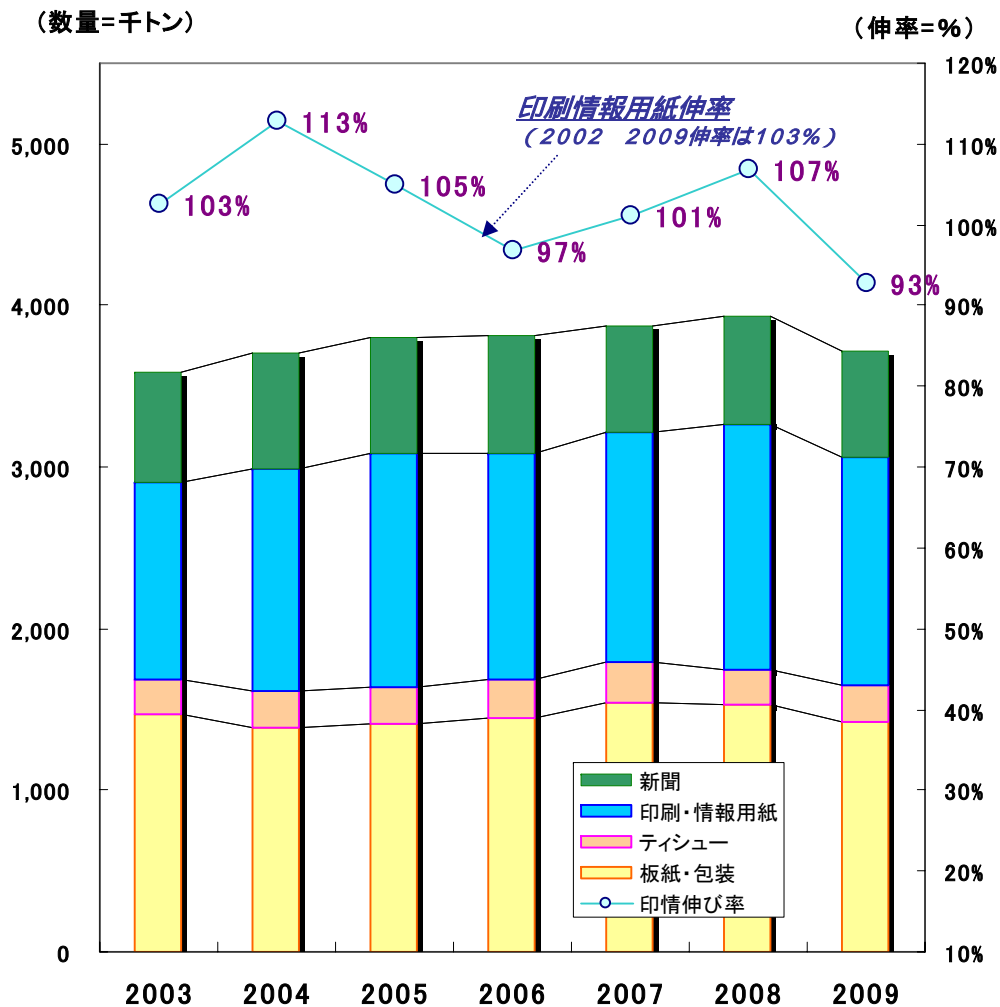
	2009年実績(※)	2010年計画 (為替=85円/A\$)
売上高	465	728
営業利益	13	18
設備投資	8	29
減価償却	10	23

(※)2009年は6～12月実績

## 2.海外展開の進捗 (1)オーストラリアンペーパー社 豪州市場概況



### 豪州市場は2009年後半から回復

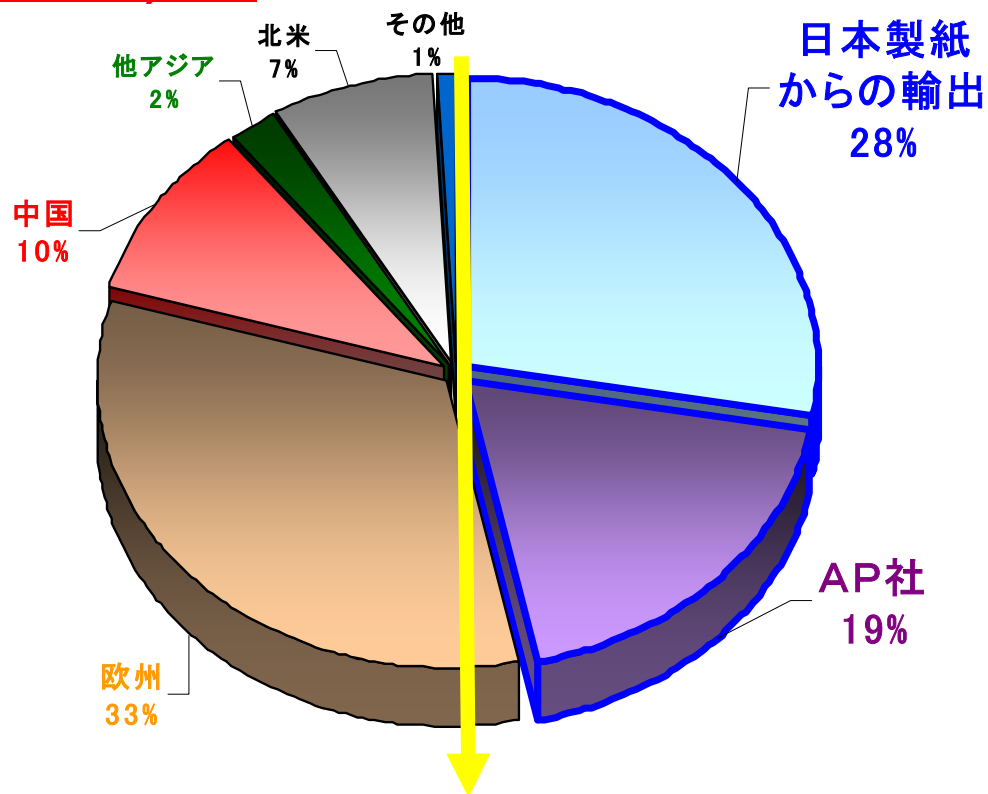


## 2.海外展開の進捗 (1)オーストラリアンペーパー社 当社シェア



### 豪州市場における当社シェア(中質コート紙) AP社と日本製紙からの輸販売の合計=47%

**2009/4Q(10-12月)推計**



©2009年4Q通関統計実績を基に当社で推計



## 2.海外展開の進捗 (1)オーストラリアンペーパー社 課題と施策



### 【AP社 施策】

#### グループビジョン2015実現の原動力に

- 生産性向上による国際競争力強化

指導・支援

- 売上拡大

豪州内 =  
AP社商権の  
維持・拡大

環太平洋へ =  
AP社・ペーパー  
リンクス社販売網活用

安定操業技術

増産

国際競争力向上

買収対象外2工場  
の商権維持

<石巻N6>

日本製紙からの輸出による補完

生産設備増強  
を視野

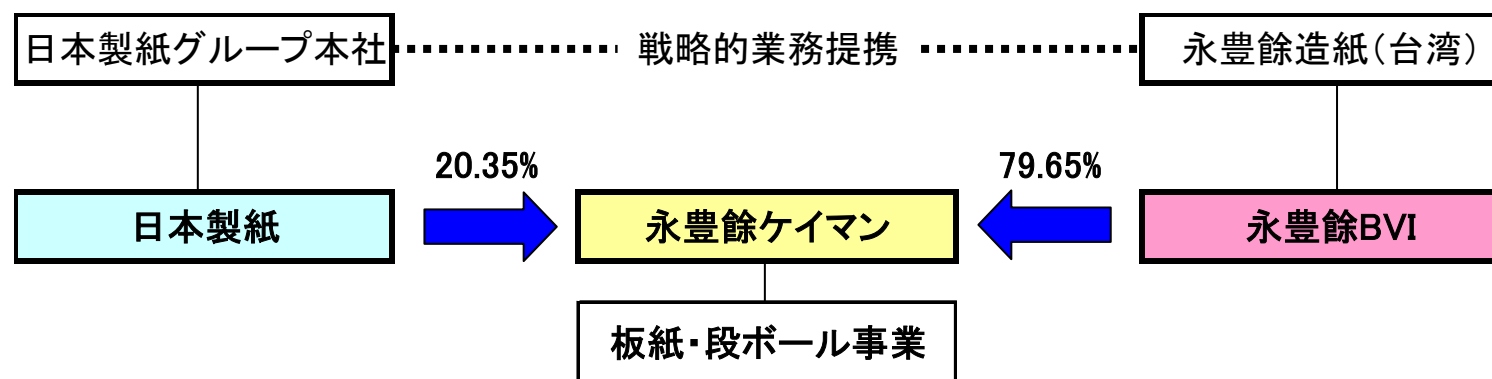
環太平洋の成長拠点へ

## 2.海外展開の進捗 (2)永豊餘造紙 板紙・段ボール事業 出資概要



■出資先	YFY CAYMAN CO., LTD. (永豊餘ケイマン)
■売上高	US\$550百万(対象事業2009年度実績)
■生産能力/年	原紙=112万トン 段ボール加工=14億m <sup>2</sup>
■出資金額	US\$110百万
■出資比率	20.35% (持分法適用を想定)
■出資期日	5月中旬(予定)

### 出資スキーム



## 2.海外展開の進捗 (2)永豊餘造紙 板紙・段ボール事業 事業概要



### 永豊餘ケイマン

#### 台湾

段原紙工場<2カ所>

- ◆抄紙機×5
- ◆能力69万t/年

段ボール工場<5カ所>

- ◆コルゲーター×5
- ◆印刷機×21
- ◆能力402百万m<sup>2</sup>/年  
(ケース販売量第2位)

従業員<1,450名>

#### 中国

段原紙工場<1カ所>

- ◆抄紙機×2
- ◆能力43万t/年

段ボール工場<12カ所>

- ◆コルゲーター×12
- ◆印刷機×46
- ◆能力820百万m<sup>2</sup>/年  
(能力国内最大)

従業員<2,797名>

#### ヴェトナム

段ボール工場<3カ所>

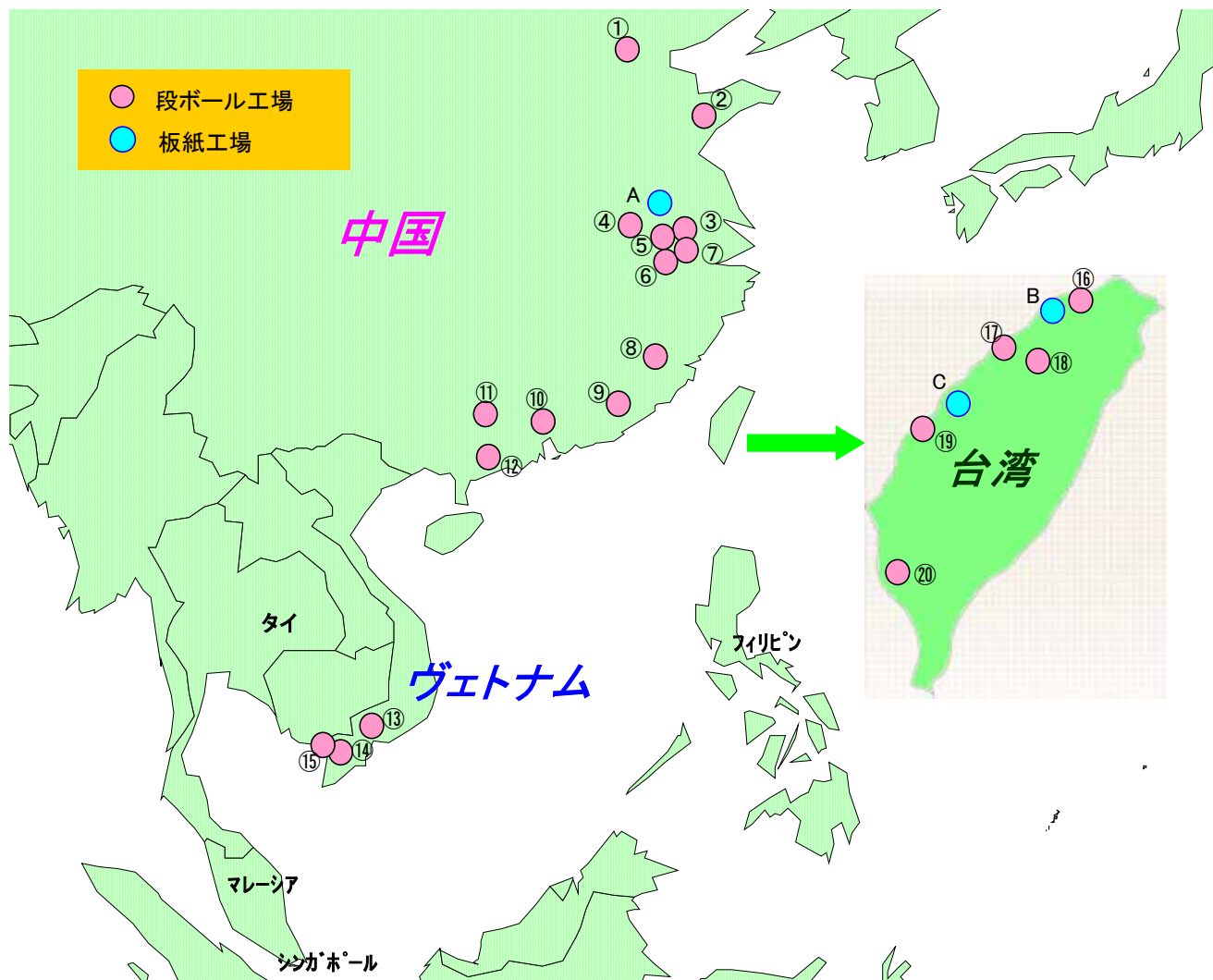
- ◆コルゲーター×2
- ◆印刷機×25
- ◆能力170百万m<sup>2</sup>/年  
(能力国内最大)

従業員<938名>

## 2.海外展開の進捗 (2)永豊餘造紙 板紙・段ボール事業 操業拠点



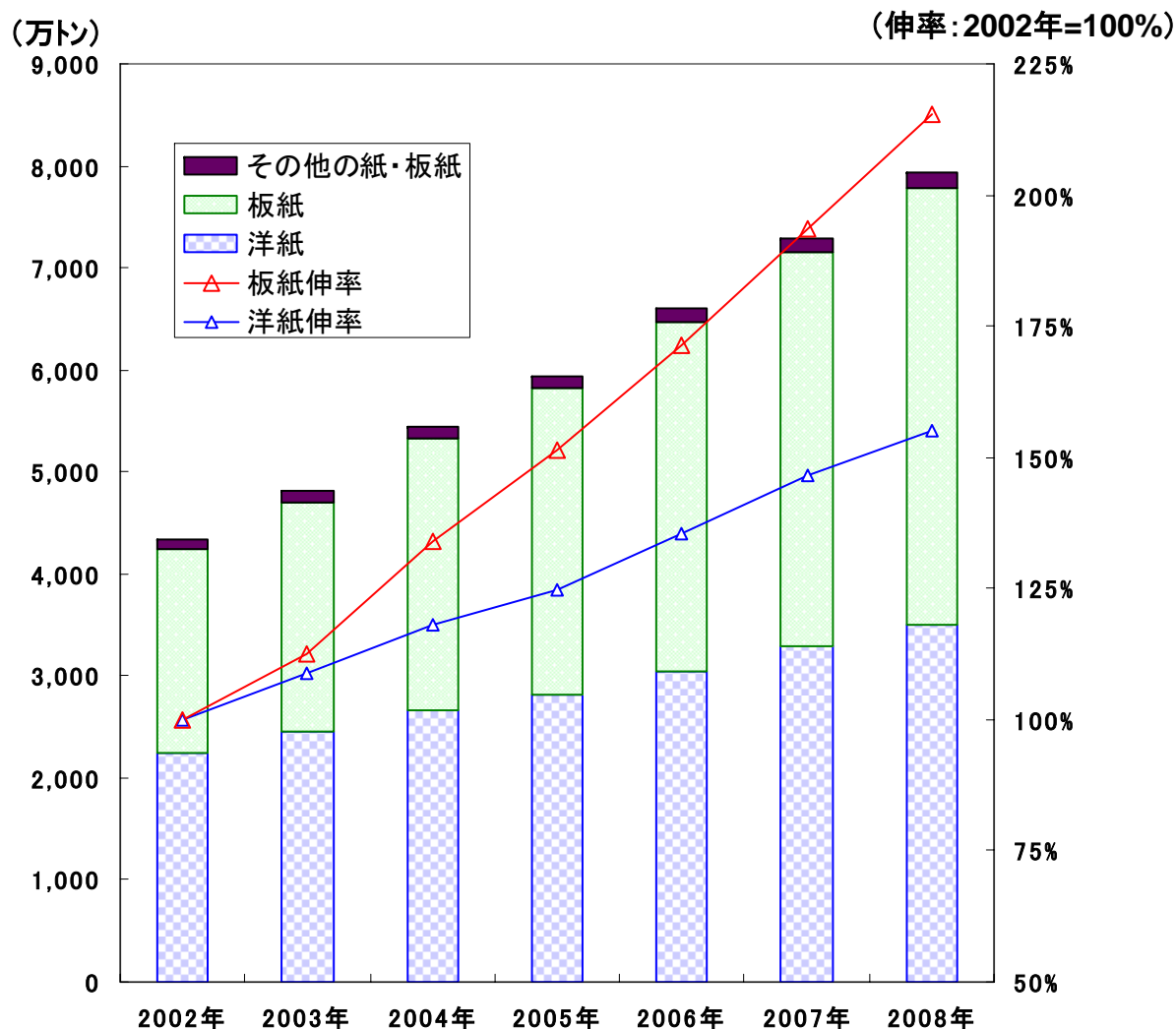
### 台湾・中国・ヴェトナム沿岸部に展開



# 中国市場概況



## 【洋紙・板紙消費量推移】



## 2.海外展開の進捗 (2)永豊餘造紙 板紙・段ボール事業 収益状況

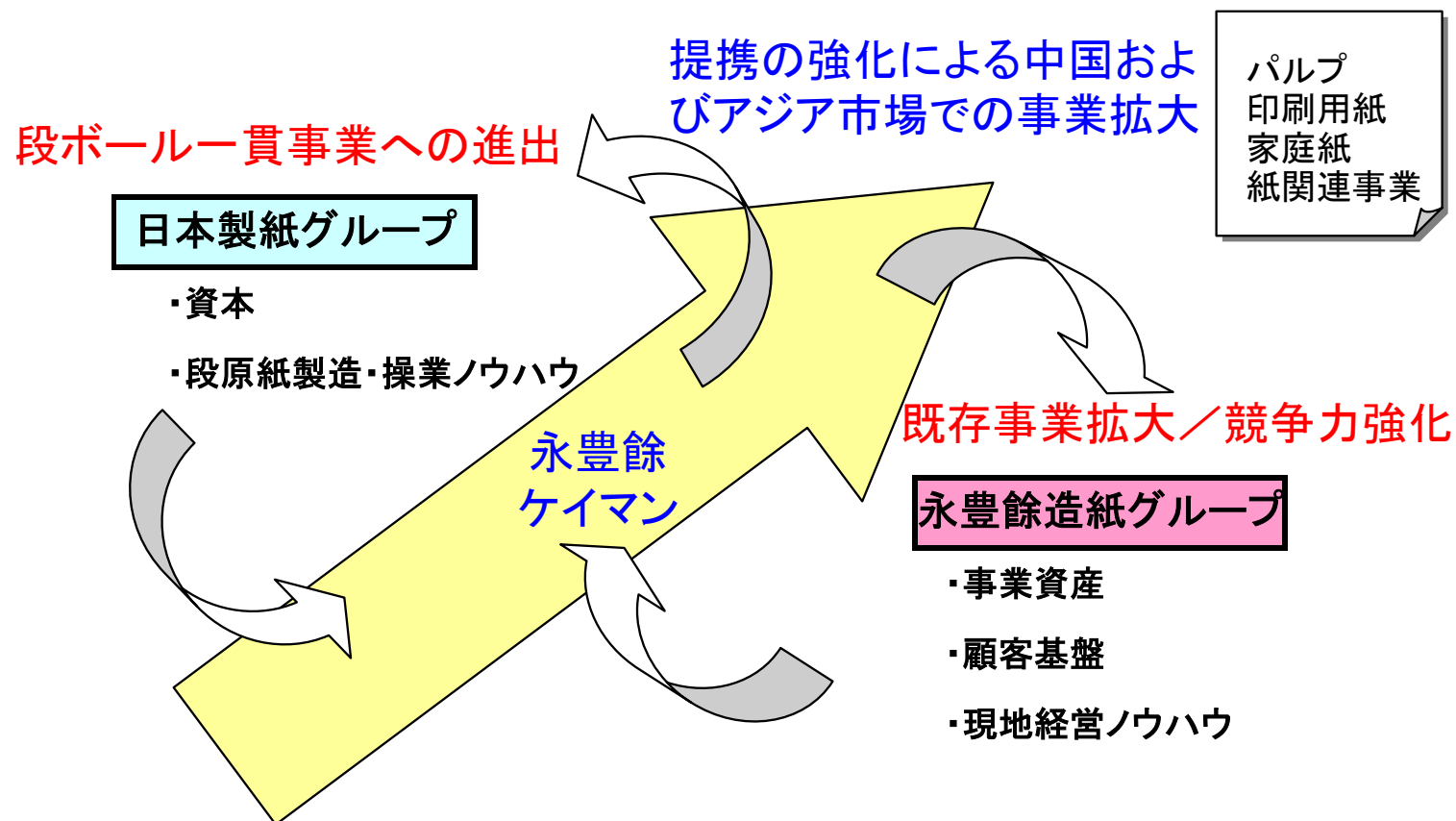


### 【対象事業の収益実績および計画】

(単位:億円)

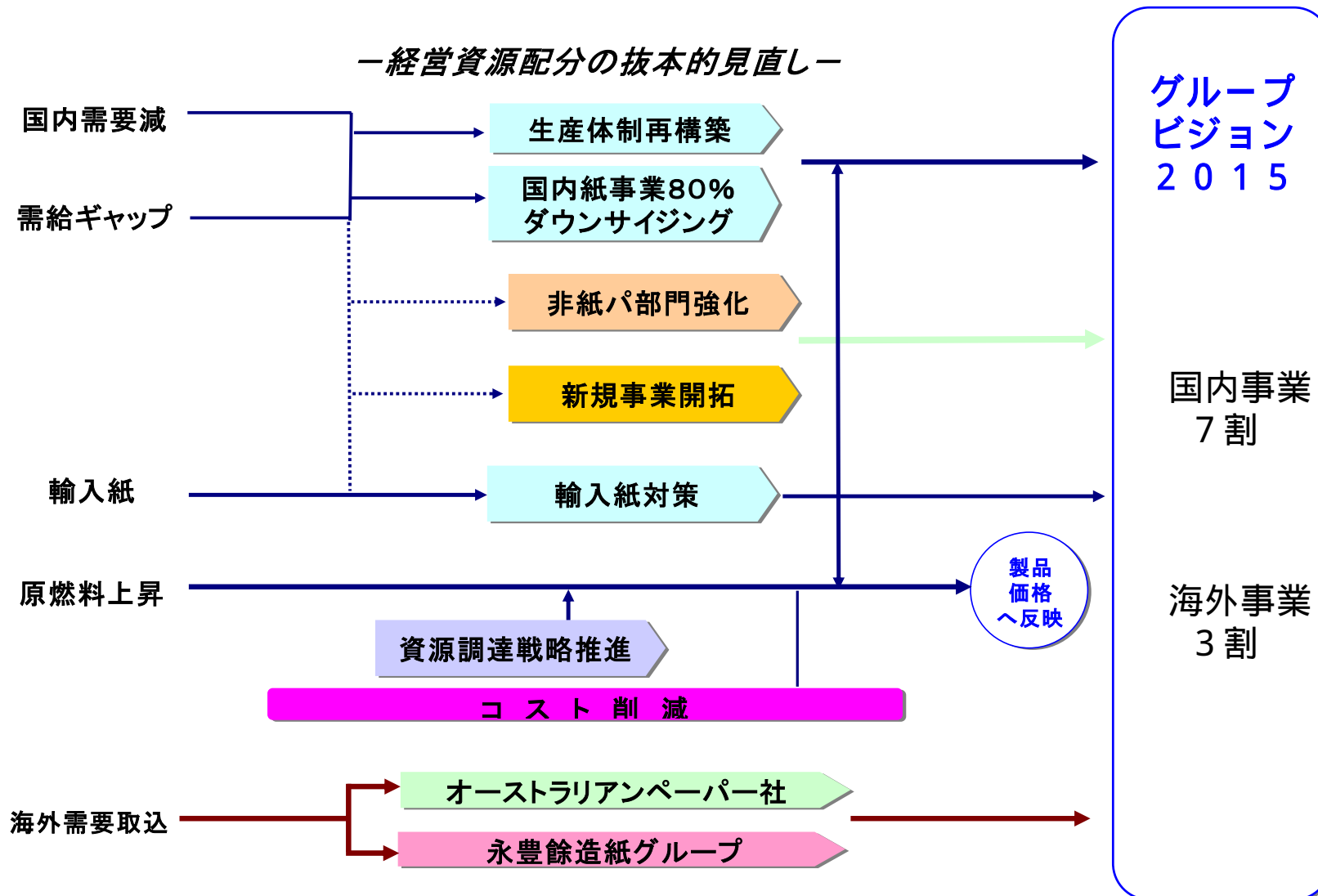
	2009年実績	2010年計画 (為替=95円/US\$)
売上高	492	707
営業利益	20	50
設備投資	7	50
減価償却	29	35

## 2.海外展開の進捗 (2)永豊餘造紙 板紙・段ボール事業 出資の目的



### 3.総括

# グループ事業構造改革





## 予測に関する注意事項等



- 本資料には、会社に関連する見通し、将来に関する計画、経営目標などが記載されています。これらの将来の見通しに関する記述は、将来の事象や動向に関する現時点での仮定に基づくものであり、当該仮定は不正確であることがあり得ます。また、様々な要因により、実際の業績が本書の記載と著しく異なる可能性があります。
- 本資料は、いかなる有価証券の申込み、もしくは購入の案内、あるいは勧誘を含むものではなく、本資料および本資料に含まれる内容のいずれも、いかなる契約、義務の根拠となり得るものではありません。